

# 再審を貫徹し石川さんを奪還しよう

日刊 動労千葉

83. 5. 28

No. 1350

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二(22)七二〇七

## 5・23 狹山中央決起集会開かる

石川一雄氏が部落差別によるデッチ上げのもとに不當逮捕されて二十年、われわれは石川さんの無念の思いと二十年の重さを今一度胸にきみつけ、国家権力に対する怒りをたぎらせて、石川さんを絶対に実力で奪いかえさなければならぬ。

### 獄中20年、無実の石川さん奪還しよう

五月二三日、不当逮捕二十年を糾弾して開催された狭山中央闘争は、解放同盟中央本部の呼びかけのもとに全国から四万名が結集、明治公園は立鍊の余地のない程に埋めつくされた。

勤労千葉からも、前日の三里塚全国総決起集会と結合した連続闘争として「石川氏奪還・三里塚二期決戦勝利」の横断幕を高々とかかげて五十余名が参加、解放同盟と連帯し共に闘いねいた。

集会では、演壇に「証拠品」の万年筆が「発見」されたとする石川さん宅のかもいと全く同じ条件でかもいが作られ、実験によつて警察権力の捜索なるものが一から十までいかにデッヂあげであるのか、一点のくもりもなく鮮明にされた。

差別裁判の強行によつて、無実の石川さんを、二十年間にわたつて獄につなぎ、抹殺しようとする國家権力の凶暴さをわれわれは一時も忘れてはならない。

「権力を打倒する実力闘争を」  
石川さん、獄中からの訴え

埼玉県連婦人部の代表によつて読みあげられた石川さんの獄中からのメッセージは、「狹山差別裁判は部落差別にもとづく権力犯罪であり、えん罪をはらすとともに権力を打倒していく闘いでなければならぬ」と呼びかけ、「私も無念の思いとともに、国家権力に対する怒りを忘れたことはない。権力に対する妄想を捨て、権力に打撃を与える実力闘争を貫かなければならぬと考へてゐる。闘いも正念場であり、私を殺すも生かすもみなさんの闘いのいかんにかかつてゐる」と訴えた。

われわれはこの石川さんの血叫びに全力で応えなければならない。

三里塚と結合し、

狹山闘争の勝利をかちとれ

日帝国家権力は、部落大衆の生業・生活の破壊



無実の石川さんをとりもどそう——部落解放同盟を先頭に  
全国から4万名が結集した。(5月23日・明治公園)

部落差別の新たな煽動の強まり、部落解放同盟と解放運動の戦闘的魂の解体攻撃など、全面的な差別反動攻勢に出ている。

これは軍事大国化・改憲にむけた戦後の支配的反動的転換を目指す攻撃のなかで、戦時の部落政策へ再びふみだそうとするものである。だからこそ不屈に闘いつづける無実の石川さんを抹殺し、「犯行現場」の至近距離において人影も見ず、悲鳴もきこえなかつたという決定的重要性な「小名木証言」を無視抹殺し、特別抗告を密室裁判・書面審理で闇から闇へ葬り去ろうとしているのである。

怒りを燃やし、今こそ再審貫徹、石川氏奪還に決起すべきときだ。

三里塚・反戦の闘いと結合し、狹山闘争の勝利の展望を切りひらこう。